

2014年1月14日にリリースされた Java 7 Update 51 (7u51)利用環境での Javaアプレット利用設定手順について

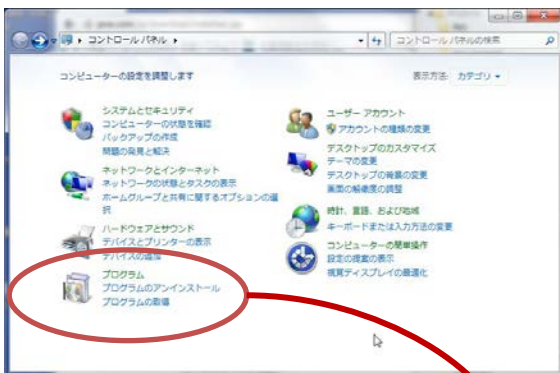
従来のJavaアプレットを Java 7 Update 51 (7u51)環境で利用した場合

Java 7 Update 51 (7u51)からアプレットに対する署名の要件が厳格となったため、従来のアプレットでは以下のようなダイアログがでて、利用できなくなることがあります。



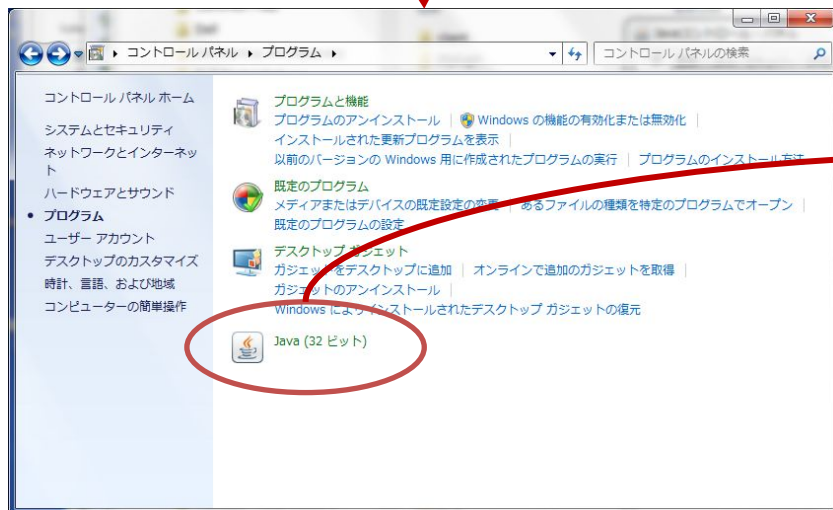
アプレットに対する署名確認の例外設定 (Windows 7の場合)

1. コントロールパネル

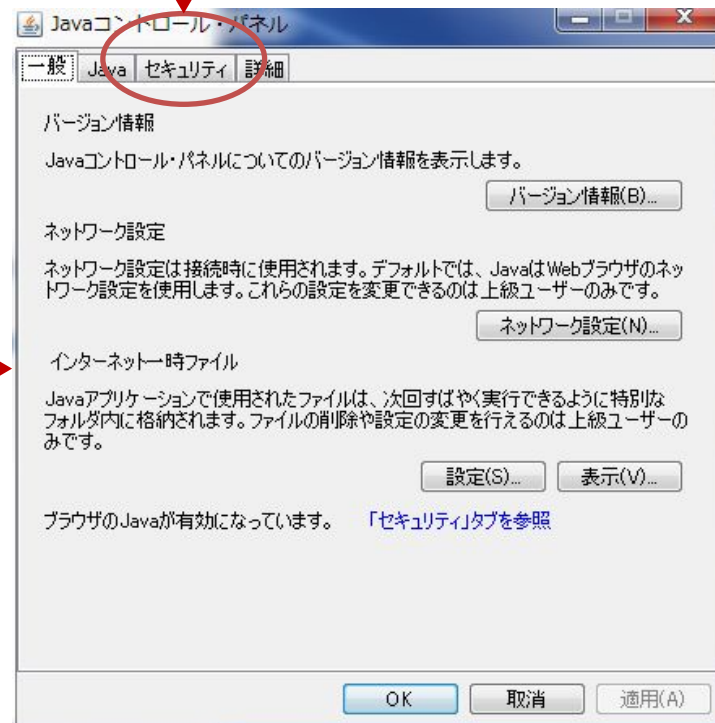


Javaコントロールパネルを開き、セキュリティタブを選択します

2. プログラム



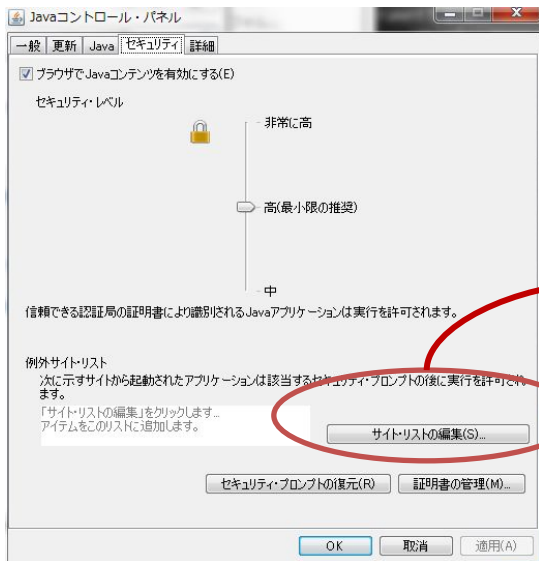
3. Javaコントロールパネル



Java アプレット利用サイト(URL)の例外登録

Java Appletサイト (CpMonitor や NetSkate Koban for CATVサーバ) のURLを登録します

5. 例外サイト・リスト



4. Javaコントロールパネルセキュリティタブ

設定完了 ←

